１．はじめに

第26回　技術　論文　本文は、図・表を含み **3,200以上～4,000文字 4ページ以内**。

本文MS明朝10.5、2段組み、22文字×39行（1ページ目は28行）の規格で作成すること。

5ページ目に要旨100～200文字程度（2～5行)を記入すること。

※応募資格：主執筆者、共同執筆者共に1級・2級又は技術士（建設部門）の有資格者

タイトル：**（簡潔に命名）**

所属技士会名：

会社名：

主執筆者 名前： 　　 （役職　＊役職は空欄でも可）（資格者証交付番号or合格証明書番号を記入）

共同執筆者 1 名前： 　　　（役職　　　　　〃　　　　）（　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　）

　　〃　　 2 名前： 　　　（役職　　　　　〃　　　　）（　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　）

できるだけ省略し

本文の量を多く

工事概要

(1) 工事名　：□□□

(2) 発注者　：□□□□

(3) 工事場所：□□

(4) 工　期　：

２．現場における問題点

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

３．工夫・改善点と適用結果

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

４．おわりに

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

※図や写真、データなどを他から引用した場合は、その出典を明記すること

**※図(写真)・表は、印刷時(白黒)に鮮明に表示されるか確認すること**

**※図表は、以下のように表示する**

図-１　タイトル

図と写真は、**図の下**に

番号とキャプションをつけ表示する

(写真も図とみなします)

表は、**表の上**に、

番号とキャプションを表示する

表-１　タイトル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**要　旨**100～200文字程度（2～5行）

例を参考に、どのような課題に対してどのような工夫をして解決したか、を簡潔にお書き下さい。

例1 　長大かつ大断面トンネル掘削工期の短縮のために、ドリルジャンボの削孔機のフィード長を延長し、掘進発破からロックボルト工へ移る際のロッド交換を不要にして、ロッド交換によるサイクルロスを排除したことなどにより大幅に工期を短縮した。

例2　　湾岸道路高架橋の下部工橋脚をニューマチックケーソンで施工するにあたり、仮設桟橋の構築に鋼管杭工法と鋼殻吊降し工法の当初設計から袋詰め根固め工法に変更したことで経済性・品質・安全性・施工性をアップさせ、計画時の問題を解決した。

要旨）